

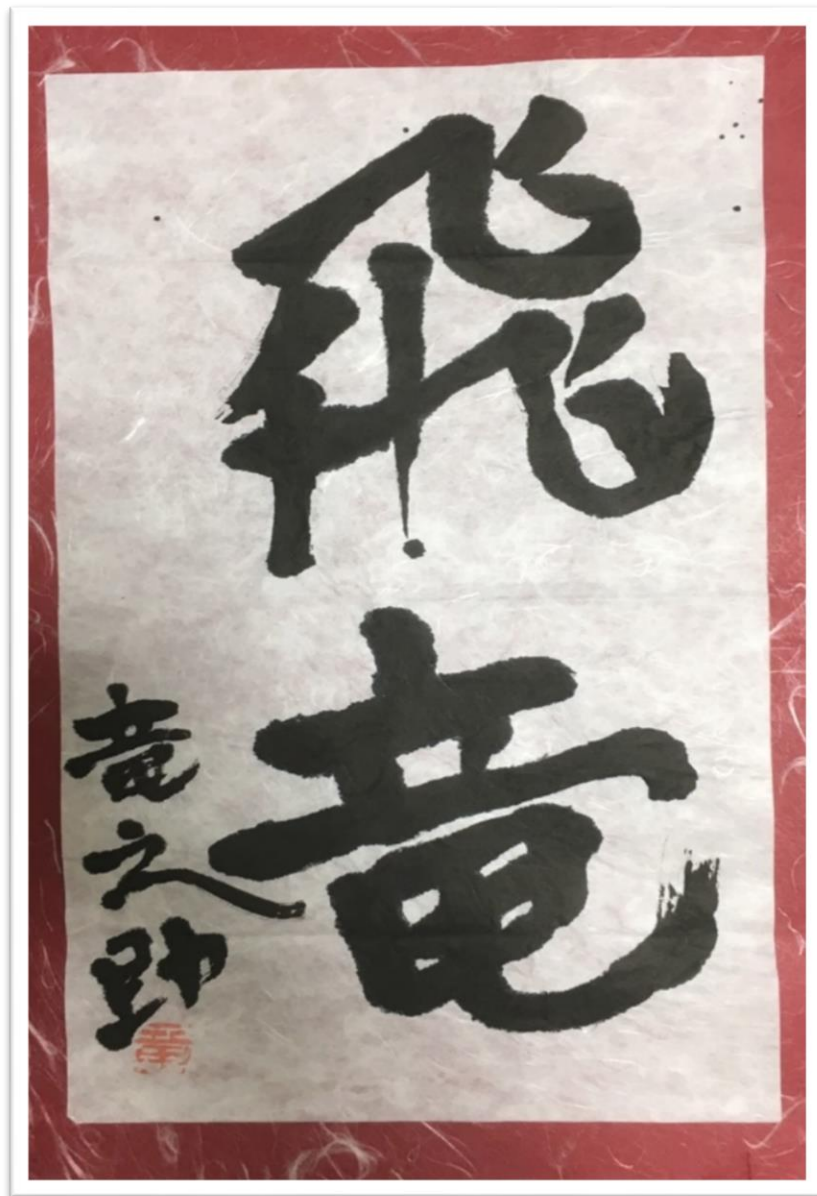
平成 30年 1月 1日

父母の会だより

第36号

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会

〈発行責任者〉 豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217
FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



「飛竜」 三浦竜之助

<https://fubonokai-toyohashi.com>



第36号の記事内容



1. 新年のごあいさつ	1
2. 愛知県の医療的ケアの現状について	2
3. 心の輪を広げる体験作文	3
4. 父母の会行事	
・Q&A委員会	6
5. 豊障連行事	
・豊障連文化祭	10
・さくらピア避難所体験	11
・豊障連体育祭	11
4. 市・社協行事	
・障害児(者)とボランティアのつどい	12
5. 愛肢連行事	
・わいわいカーニバル	13
6. 心身協福祉大会	14
7. 友だち紹介 No.16	15
8. 今後の主な行事予定・あしがき	16



新年のごあいさつ

会長 中神 達二

新年あけましておめでとうございます。

戌年の新しい年をみなさまいかがお迎えでしょうか。戌は干支の11番目で、戌年の人は誠実で真面目な人が多く、親切で忠誠心に長けていると言われています。しかし頑固で用心深い一面もあるようです。

父母の会は昨年一年間も計画した活動を実施することが出来ました。児童部を中心に入学前の親の相談会「Q&A委員会」やこども発達センターの「ゆりぐみ講座」は若いお母さん方にとって貴重な機会になったと思います。「行政との座談会・勉強会」もとても勉強になり、クリスマス会等レク活動も参加されたご家族に喜んで頂けたと思います。

国の福祉施策は、障害者権利条約が平成26年に批准され、28年4月から「障害者差別解消法」が施行されましたが、障害児者で6割、一般市民の方は8割の方々が「知らない、または聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない」と回答していて、今後とも理解を深めていく必要があります。その一つとして県の補助金助成を活用して、この2月に父母の会シンポジウム・テーマ：共生社会の実現を目指して～障害者差別と合理的配慮を考える～を開催いたします。是非ご参加いただきたいと思います。どんなに重い障害を持っていてもお互いに理解し尊重し合い安心して暮らせる社会を作っていかなければなりません。

27年1月発足した「小児慢性自立支援事業」はどんなに重い障害を持っていても、地域社会で自立した生活が出来るように関係機関が連携しその実現を目指す（地域包括ケアシステムの構築）というもので、保健所を中心に議論されており、その子に合った支援が受けられるように親の立場から今後とも具体的な意見具申をしていきたいと思っています。

本年も児童部や特別支援学校、施設関連を中心に会員増強を図り、活力のある組織づくりに努め、相談体制の充実、必要な制度の見直し要望等、福祉の発展に微力ながら努力してまいります。

会員のみなさまが笑顔で、明るく楽しい日常生活が送れるよう今年も地道な活動を続けて行きたいと思っています。

ご支援者はじめみなさまの温かいご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

平成30年元旦

あけまして
おめでとう



愛知県の医療的ケアの現状について

29年10月に愛知県医療的ケアを考える会の総会で豊田市こども発達センター・三浦清邦センター長よりご講演を頂きましたのでその概要を抜粋して紹介いたします。

中神

愛知県の医療的ケア実施の方向性

1. 特別支援学校で実施する医療的ケアは、「愛知県立特別支援学校における医療的ケア実施要綱」において、「痰の吸引、経管栄養、導尿及び『愛知県立特別支援学校における医療的ケア連絡協議会』で協議・承認され校長が認めた行為とする」としている。人工呼吸器使用児童生徒も保護者付添なしで受け入れることができている（一部付添いあり）。
2. 看護師による医療的ケアの充実という方針のもと、教員が研修を受け医療的ケアを実施することは行っていない。
3. 平成28年度に教員に対して医療的ケアに関するアンケート調査を行い、その結果から「今後も各校の実情に合わせて看護師の適正配置を行ったり、必要に応じて看護師の増員を行ったりするなどして、看護師による医療的ケア実施体制の充実を図るとともに、教員は看護師との連携や保護者との連絡調整を行い、授業などの学習活動を充実させる」という方向性を再確認した。

愛知県での医療的ケアに関する課題

1. 療的ケアの内容（実施は看護師）

要綱にあるのは（1）痰の吸引、（2）経管栄養、（3）導尿、（4）医療的ケア連絡協議会で協議・承認され校長が認めた行為。カフマシーンは実践が始まっている。今後、さらに医療の進歩で新しい医療的ケアがでてくる可能性あり。

2. 校内行事、校外行事の際の医療的ケア

校外行事は原則認められない。校長会でも検討開始している。

3. スクールバスで登下校する日のケアについて

各校のスクールバス運営規定等に基づき、校内医療的ケア検討委員会で検討し、校長が認めた場合にはスクールバス乗車が可能となった。

4. 実施回数の問題

各学校に大きな格差あり。フルケアが実施できない学校の増加。保護者による一部医療的ケア実施が増加。特に、人工呼吸器利用児が通学している学校で顕著。

フルケアが実施できないため、学校に行けなくなる事例もでてきている。

（昔の、保護者がつけないから学校に行けないのと同じ状況が出てきてしまっている）。

5. 看護職員の待遇

平成26年度から常勤看護師（臨時任用）7名雇用。平成27年度は、肢体不自由特別支援学校5校（名古屋、豊橋、岡崎、一宮、小牧）に正規常勤看護師が1人ずつ配置され、平成28年度は7校すべてで正規常勤化された。市立の特別支援学校は正規化されていない学校もまだあり、検討中。

6. 県と学校の体制（指導医、協議会）

指導医の増加。協議会は年3回開催。全指導医の参加。全指導医と全校長と教育委員会の担当者との意見交換実施。

7. 肢体不自由養護学校以外の学校への看護師配置

聾学校に看護師配置も実施されている。知的障害特別支援学校での配置は進んでいない。

8. 新たにケアが始まるまでに時間がかかること

主治医から指示書。保護者が学校でケアをしてそれに基づきマニュアル作成。看護師の主治医前研修（主治医が伝達講習可能とすれば1人だけ代表で研修を受ける、ただし、新しい看護師は3行為は1回ずつ主治医前研修）。その後、保護者前研修あり。どこまで必要かの議論が必要。

9. 教員の医療的ケアへの参加

「5. 個々の行為について研修を受けた教員が実施可能な行為」として実施。

→酸素療法中の見守り、人工呼吸療法中の見守り、注入の見守り、24時間持続注入の見守り、呼吸器

回路の微調整、簡易ポンプによる口腔内吸引の見守り、人工鼻の装着、胃瘻ボタン周囲のガーゼの交換、酸素の充填、パルスオキシメーターの装着、エアウェイの位置微調整、など、県の協議会で諮問され、個別に判断されて実施されている。

→教員の意識調査では、医療職でという声が大きかった。

→比較的安全な胃瘻注入から始めていいのではないかと

やはり看護師による医療的ケア実施がいいのではないかと意見などいろいろ。

お母様方へ

- 医療的ケアの仕組みは、日本中のお母様たち、学校の先生方と看護師、医師らが、行政等を巻き込んで作り上げてきたものです。
- 愛知県もケアを考える会のお母さんたちが動いて始まりました。多くの関係者（教育関係者、福祉関係者、医療・保健関係者、行政、議員、保護者）と一緒に考えて作り上げてきました。他県と比してゆっくりかもしれませんが、愛知県の医療的ケアは、「慎重に着実に前進」してきました。
- 非医療職による医療的ケアが法制化され、教員も法的には医療的ケアの実施が可能となっています。愛知県では、どういった仕組みを作ればよいのか、皆さんと一緒に学校の先生方と考えていきましょう。
- 医療的ケアが必要な子ども達も、学校に行く権利があります。保護者には教育を受けさせる義務があります。家族に負担をかけることなく、安全に快適に学校生活が送れるように、この仕組みを守り、さらに充実させて行かなければなりません。そんな学校は、すべての子ども達にとっても安全な快適な学校です。
- 医療的ケアが必要な方々が、安全に快適に地域で生活が送れるように、この仕組みを守り、さらに充実させて行かなければなりません。そんな世の中・地域は、すべての人々にとっても安全な快適な世の中・地域だと思います。今から、卒業後もみこして考えて行きましょう。
- 関係者が、立場を越えて、お互いの状況を理解し合い、協力していくことが重要です。

お母さんたちが動くとき周りが変わります。影響力は大きいです。自信を持って下さい！

これから県内各地で、情報交換しながら進めていきましょう。追い風吹いています

*愛知県みよし市が保育園、学校等の看護師不足を補うために平成 29 年度より事業化をした事業を紹介します

障がい児医療的ケア費給付事業

みよし市資料

1. 基本的な考え方

- (1) 定時の医療的ケア児が、保護者の協力なしに児童発達支援事業所や保育園・幼稚園、学校等に安心して通えるようにするため、訪問看護サービスの考え方を活用。
- (2) 医療的ケア児の状態に応じて、看護師等医療職（訪問看護ステーション、病院又は診療所の看護師）が児童発達支援事業所や保育園・幼稚園、学校等を訪問し、医療的ケアを行う。
- (3) 医療的ケアを行うため、看護師が訪問したときの費用の一部を市が助成する。

2. 概要

保護者が市に申請。主治医が作成した指示書の写しを提出。訪問看護事業所等と保護者が利用契約する。費用の9割を市が負担、事業所に代理受領払いも可。訪問先が市外となる可能性もあり。看護師が訪問する際の交通費等は自己負担。

3. 給付内容

- ・給付基準額 1日（1回）の医療的ケアに要する時間が30分 ≤、≤90分 8,530円
【根拠：訪問看護基本療養費 I 5,550円/日＋訪問看護管理療養費 2,980円/日】
- ・給付率は児童福祉サービスと同基準の9割給付。利用者負担に上限月額を設定。
- ・1か月の利用限度回数 10回（週2回の計算）

4. 対象施設

みよし市在住の医療的ケア児が定期的に通う場所。

以上

平成 29 年度「心の輪を広げる体験作文」

毎年、障害のある方に対する理解促進を図るため内閣府・都道府県及び指定都市の共催により「心の輪を広げる障害者理解促進事業」が開催されています。平成 29 年度「心の輪を広げる体験作文」小学生部門最優秀賞に「心を使って考える」豊橋市立幸小学校 5 年生 中根あさひさんが受賞されました。その作品を紹介します。

①

心を使って考える
幸小 五年 中根あさひ
総合の授業で、「しようがい」と「ユニバ
ーサルデザイン」について学習しました。出
前授業で車いすに乗り、軍手をしてじじ
やくを外してみても、使いやすいはどんなも
のが体験しました。
実際に車いすにすわってみると、立っ
ている人の顔はすぐ高いところにあり、
「お話する時は、目線を車いすにすわって
いる人の高さに合わせていいよ。」
先生のアドバイスの意味がわかりました。
わたしの弟は生まれたときから左手にし
ょうがいがあります。指はほとんど動かないの
で、右手だけでいろいろなことができるよう
に工夫して生活しています。今まで弟のし
ょうがいのことしかよく知らなかったけれど、
いろいろな病気やしょうがいがあることを知
りました。
わたしのお父さんとお母さんは、「肢体不

コクヨ ケー10 20X20

②

自由思父母の会」の役員をしています。お父
さんとお母さんが行事の役員をやるときに、
四年生の時からわたしもいっしょにお手伝い
をしています。
学校でしようがいについて勉強してからし
ばらくして、機能訓練会の受付のお手伝い
することになりました。
「名前を聞いて名簿に丸をつけるだけじゃな
くて、自分でできることをしてね。」
出かける前にお母さんに言われ、
「うん。車いすの人は目の高さでお話する
て知ってるからだいじょうぶだよ。」
はりきって返事をしました。
機能訓練会が始まると、車いすに乗った人
やつえを持った人が順番にやってきました。
でも、しばらくの間、わたしは名簿に丸をつ
けることしかできませんでした。何をしたら
いいかわからなかったからです。
「あさひ。車いすの人が帰られるよ。できる
ことはない？」

コクヨ ケー10 20X20

お母さんが下を向いたままのわたしに声をかけました。一生けんめい考えて、「あっ、ドアに手がとどかない」と気がつきました。立ち上がってドアの横に行つて「おつかれさまでした。」ゆっくり開けてあげると「気づいてくれてありがとう。」と家族の人が言ってくれ、車いすの人もここにこしていました。

「前に文化祭のお手伝いをしてくれたとき、耳の聞こえない人がおにぎりかいくつほしいかまちがえないように、あさひは自分で考えて指で数字を作って伝えたじゃん。それといっしょだよ。」

お母さんがかたもほおんとタッチしてくれました。それから訓練会に来た人を見て、つえを使う人が来た時はくつがぬぎやすいようにいすを運んできたり、できることを考えお手伝いしました。

帰りの車の中で、学校で勉強したとおりに

コクヨ ケー10 20x20

はできなかつたことを話しました。

「ひとりひとりちがつて当たり前だよ。あさひも、あさひはどんな子かなくて開くてもらえるとうれしいじゃん。」

「下を向いてたあさひが、顔をあげてからすぐく役に立ってたよ。ありがとうね。」

お母さんと話をしながら、わたしが自分でできることを見つけてくれたのは、どんなことをしてあげたらうれしいかな、と相手の気持ちを想像してみたらだと気がつきました。

わたしの家族が弟の手助けをさ。とできるのは、弟のことを愛していて、いつも心で応援しているからです。相手の気持ちを想像することは、心を使って考えることだとわたしは思います。

九月の機能訓練会と野外訓練会も、わたしはお母さんといっしょにお手伝いをする事になつていきます。次は顔を上げて、心を使って考え、わたしにできることを自分からしてみようと思います。

コクヨ ケー10 20x20

29年度 あゆみ学園Q&A 第3回目報告

平成29年9月13日実施

今回は、ぞう組さんに事前アンケートをとり、「支援学校でのケアについて」の内容を中心に住宅改修、外出時の便利グッズについて簡単な自己紹介の後、質疑応答の時間を設けました。特に、支援学校の生活についてはとても活発に質問が出て時間が足りないほどでした。福祉車両についてはQ&A終了後、興味のある方に移動して頂き児童部役員の福祉車両を実際に見て操作して頂きました。

.....

<豊橋特別支援学校小6女子（あゆみ学園3年間→豊橋特別支援学）>

あゆみ学園へ通う頃はペースト状の食事だったが、小学部へ入ると発作や寝てしまって給食時間内に食事が取れない事が多く、鼻から注入することに。その後、側彎から酸素値が下がりボンベを持って登校した時期もあった。現在気管切開。

<豊橋特別支援学校小4男子（あゆみ学園外来→ほいっぷゆり組→豊橋特別支援学校）>

小さい頃は入退院を繰り返すも、入学後は落ち着いている。座位可、経管栄養、吸引、酸素も時々使用。日々、学校と話し合いながら生活している。

以上、ゲストのみ紹介

<学校生活について>

Q1. 豊橋特別支援学校でのケアの子の付添は？

A1⇒ その子によって様々だが、少なくとも入学してから5月までは付添。その後、徐々に減り、今は週5学校の看護師が診てくれている。

今年は看護師が7名いる。7名全員にケアのやり方を説明し、理解してもらわないといけない。看護師が変わる毎にしばらくは付添をしてケアのやり方を再度理解してもらおう。また、様々な書類も必要で忙しくなり、仕事を辞めた。

無理して週5通わなくても、子供の体調や家族の生活を優先させたほうが良い。リハビリの日は学校を休み、遅刻早退することもあるので、うちの場合は週3程度の登校。

Q2 学校の一日の流れとバスについて。

A2⇒ 送迎バスは6限終了時にしか出ないので、小1のように4限、5限で終わる日は利用できない。学年が上がると6限も増え、中学部になると毎日利用できる。

しかし、発作がひどい子、体勢の維持ができない子、ケアの状態により利用できないこともある。その場合は親の送迎。

学校は9時始まり15時終わりでバスの始発は7時半くらい。帰りは16時半くらいになる。

各バス停には5分前集合。もし遅れたら親が送る。帰りなら最終バス停へ迎えに行くことが基本。

Q3 一クラス何人編成？

A3⇒ 生徒6名に対し担任1名、副担1名など基本はあるようだが、重複クラス、重心クラスは介助員を含めてほぼ1対1。

また、学年を越えて、状態の近い子同士でクラス編成されることもある。よって、勉強や宿題も個別で違う。

Q4 学校行事でのケアの子の付添は？

A 4⇒ 遠足、運動会、修学旅行、校外学習などすべて親が付添。もし親が付添えない時は休むことになる。付添う場合、あくまでも子供の学校行事なので親がでしゃばり過ぎないこと。しかしながら親も楽しんで欲しい。

Q5 入学準備品は？

A 5⇒ 小学部は私服だが、運動会で体操服が必要。
座位のとれない子など、子供によっては布団も必要。

Q6 トイレは？

A 6⇒ 学校では先生がやってくれ、オムツは学校に置いておける。オムツはもちろん学校に置いてあるものは（車椅子、歩行器、着替えなど）長期休暇前にはすべて持ち帰る。

* 特別支援学校は暴風警報だけでなく、大雨警報でも休校になる。また、生徒が東三河各地から通っているため豊橋市に警報が出ていなくても、新城、蒲郡、豊川に出ていると休校になる。

<住宅改修について>

自治体にもよるが、30万円ほどの補助金が出ます。しかし、一生に1回しか使えません。少ない金額であったり、子供の成長を考えて小さい頃は自費で払うほうが良い場合もあります。

また、改修するのではなく、可動式スロープなどの福祉用具を日常生活給付金で購入するなど上手に申請するとよいでしょう。相談員さんによく相談しましょう。

<便利グッズについて>

ネットで購入できる空調座布団の資料をお渡ししました。

バギーを作る時に自分の子に合った位置へ座布団を付けている例を説明。

また、雨の日のお出かけでは車いす用のカップや一般のポンチョを利用している先輩母の話も、少しくらいの距離ならバスタオルを子供にかけて走る！！など実体験をリアルに話しました。

<福祉車両について>

シートアレンジのバリエーション、車椅子がどの位置にくるか？スロープ格納の手動電動の違い、メリットデメリット、一般車との金額の違いなどの質問がありました。

29 年度あゆみ学園 Q&A 第 4 回目報告

平成 29 年 11 月 15 日実施

今回は、うさぎ組のアンケート結果より「足の手術」「卒業後」「きょうだいについて」の内容で開催しました。

あゆみ学園を卒業された 3 名（内 1 名豊川市）の先輩お母さんから主に話を頂き、

他に児童部より 4 名（内 1 名豊川市父母の会）が参加させていただきました。

また、今回は父母の会会長からもお話を伺うことができました。

各自これまでの経過をお話し頂き、その後上記内容について質疑応答を交えて答えて頂きました。

【18歳 男子 週5で生活介護利用】あゆみ学園（5年）→豊橋特別支援学校（12年）

【26歳 男子 週5で生活介護利用】あゆみ学園（2年）→保育園2年→豊橋特別支援学校（12年）

【小4 男子】あゆみ学園（3年）→保育園（1年）→豊橋特別支援学校

Q1⇒足の手術について 時期、病院、入院期間など

A1.小学2年の冬に青い鳥学園で手術。足の麻痺が強く足がクロスしてしまう。成長した時の介助を考え手術を決意。大腿骨と16か所足の筋切、他骨の移植等で16時間の大手術だった。

術後のリハビリが上手いかず1年3か月の長い入院となった。手術後1週間は安静が必要でトイレが大変だった。足の手術をしたことで他の緊張も取れた。現在手を動かし、PCでの歩行が可能となり手術して良かった。

A2.中学1年の時青い鳥学園で足首、ふくらはぎの手術で5か月入院。その間岡崎特別支援学校に転校。

術後大きな変化はなく手術に疑問もあるものの当時難しかった段差も上げられるようになり現在独歩可能。

A3.小学3年の時青い鳥病院で大腿の骨きりなど7か所の手術。膝が伸びず内転もあり、ずりバイがやつの状態で介護側の立場で手術に踏み切った。手術の1か月前より入院し術後は6か月入院。

これからは戻らないようにリハビリをがんばる。

Q2⇒入院中の付添、お金について

A1.手術前日から1週間と入所後1週間だけは必ず付き添い。

それ以外は幼児でも基本付添なし。

もし付添いたい時は母子室もある。

利用料は、医療部分については健康保険の免税により無料となり、福祉部分は上限9300円までとして、支払うことになる。

Q3⇒手術がいいのかそれともボトックス？また術後の装具について

A1.ボトックスについては、何か所も打たないといけないし痛みもある。数か月ごとに繰り返し打つ必要があることからストレスになる場合もあるのでオペでの対処を決断した人もいる。何が合っているのか？慎重に考える必要があります。

装具は人によって期間は様々だが、うちの場合は手術後24時間装着。3週間たったあたりから夜間のみになったが6～7年は装着していた。

入院時、外泊するとき装具を付けていると車の乗り降り、家の玄関を通る時が大変だった。

Q4⇒卒業について

A1.施設は、高校1年のときから日中一時を利用し、高校2年での就業体験で車いす移動がしやすい広さがあり良かったので決めた。

A2. 卒後2年通った施設は職員さんに合わない人が居て辞めた。その後も移動支援や、日中一時を平行して使いながらより合う施設を検討中。

息子はプロ野球が大好きで、ナゴヤドームへ移動支援を使って試合を観に行ってる。バスケの試合も同様に利用。

シティマラソンのジョギングの部にも参加した。その際行き帰りなど移動中は支援が使えるが、ジョギング中は支援が使えない為、自費でお願いした。

A3. 高等部に入ると進路についていろいろ指導が始まる。

授業の1つに「作業」というものがあり、その時間に作ったものを「たかしのまつり」という文化祭で販売して卒後の生活のイメージに役立てる。

高1では1週間通して学校で作業のみ行い、高2では8日間校外で就業体験を行う。(本人の状態によって日数は個々に違う)

それまでに日中一時などの施設を見学して、我が子に合う施設を見つけておくといい。

高3でも2年と同様に施設へ行くが、2年とは別のところへ行くことが多い。(いろいろ経験させるためと、一カ所の施設だけでは難しい現状がある。)

本人も親もある程度の妥協は必要。しかしながら先の事なので、その時々で変わることもある。

Q5⇒兄弟について (親が障害児にばかり手をかけて、兄弟からズルいと言われる。)

A1. 小4の健常児と障害児の双子

健常児が障害児の宿題が簡単でズルいとか、早く家へ帰れてズルいとか言っていた。

たぶん同調してほしいのだと思う。「そうだよね～」と言ってあげてみてはどうか。

障害児を母が、健常児を親・兄弟に見てもらおう事が多く、健常児との時間が少なくなりがちなので、意識して健常児との時間を作るとよい。

A2. 2歳6か月差の兄(障害児)と妹

あゆみ学園に通う頃、下の子は保育園へ入れた。兄にズルいと言ったことはないと思う。

A3. 5歳差の兄(障害児)と妹

妹は産まれた時から障害を持つ兄がいたので、常に一緒だった。妹は自然と障害児を見てくれ、親が聞き取れない障害児の言葉を妹だけは理解したりしていてびっくりすることがある。「いずれ兄の面倒を私がみるの？」と聞かれたことがあるが、親としては負担をかけたくないので施設へ入れるつもり。

Q6⇒外食は？

A1. ファミレスなど騒いでも気にならないところを選ぶようにする。

前もってトイレや段差などの情報を確認しておくスムーズ。

Q7⇒母の体調の悪い時は？

A1. 子供が学校へ行った後なら、帰りはデイサービスに頼んで学校へ迎えに行ってもらい、帰宅もなるべく遅くしてもらった。

業者さんと信頼関係を作っておくと、急な依頼も引き受けてくれることもある。

家族がうつ病等の場合、子供は悪くなくても学校を休ませ一緒に家で過ごしたこともある。子供にうつたり、子供から友人へうつることも考えると、学校へ行かせるのは慎重に判断したほうが良い。

【豊障連行事】

平成 29 年度豊橋文化祭協賛行事

第 17 回豊障連さくらピア文化祭

平成 29 年 11 月 19 日(日)

開会前から活気に満ちていたさくらピア文化祭。

午前 10 時からさくらピアの 1 階ステージでは和太鼓の演奏、コーラス、カラオケが。1 階ロビーではおにぎり、お茶、みたらし団子、だんべい販売。2 階では豚汁、コーヒー、お菓子の販売がありました。一方体育館では、豊障連各団体・文化教室の作品展示、作業所などのバザー、クラフト、さをり織体験コーナーなどで埋め尽くされ見応え、買い応え、やり応えのあるスペースとなり、多くのお客様で賑わいました。特に作品展示では手芸、絵画、書道、陶芸、写真等様々な素晴らしい皆さんの力作が輝きを放っていて見入っている人が結構いました。

午後 14 時 30 分からは恒例のビンゴゲームです。みんな真剣に耳を澄ませ、カードを見つめ「リーチ」や「ビンゴ」の歓声あげて笑顔で参加しました。午後 3 時前、お菓子投げで大いに盛り上がりフィナーレとなりました。

500 人の方々が来場され、好天のもと晩秋の 1 日を楽しみました。準備された役員の皆様、関係者の方々有り難うございました。

肢体不自由児者父母の会 鈴木



ふくふく・作品展示



笑い太鼓・作品展示

【豊障連行事】

さくらピア避難所体験

(29.9.30 於：さくらピア)

9月30日にさくらピア避難所訓練が行われ、9年目の今年は宿泊体験はなく、朝から夕方まで3部構成で開催された。参加者は総勢290名でした。

1部は伝えてと題し、さくらピアからあいトピアへ避難し、その避難報告訓練と非常食試食です。

2部は地域でと題し、AJU 自立の家・水谷真所長の講演の後、体育館の床を測り、テープを貼って一人分のスペースはどの位必要か、普段あまり考えていない区分け体験です。

水谷所長からはインクルーシブ防災についてお話がありました。インクルーシブ防災とは障害者を含むあらゆる人の命を支えようという防災の考え方で、新たな防災として注目を集めているようです。

3部はつながってと題し、避難所や防災活動について、思っている事、心配な事、感じた事をみんなで話し合いました。

参加者それぞれ体験を通して、事前準備の必要性を痛感し、毎年考えさせられる避難所訓練でとても勉強になりました。

豊障連体育祭

(29.10.29 於：さくらピア)

今年で17回目の豊障連体育祭、前日準備も順調にでき10月29日を迎えました。

ただ当日は、台風22号の影響で開催が危ぶまれ様子を見ながら何とか開催にこぎつけました。参加者は総勢で約240名です。熱気ムンムンの中で、父母の会の小久保美澄ちゃんが「開会のことば」を言ってオープニングです。その後ご来賓の方々のご挨拶等を頂き行事に移りました。

その頃暴風警報が東三河地方に発令され、行事順を変更して、ラジオ体操、玉送り、借り物競争、玉入れ、パン食い競争と進み、お昼休みに入る前に閉会式になりました。やや残念そうな声も聞こえましたが、予定通りの終了時間ですと雨も風もとても強く丁度良い判断だったと思います。

障害を持った子どもたちがそれぞれの行事に合わせて自分のできることに挑戦し、ボランティアの青陵中の生徒8名のみなさんも一生懸命お手伝いをして下さり楽しさが倍増しました。

今年もみなさんのご協力のお蔭でケガも無く無事終わることが出来ました。みなさまありがとうございました。



開会のことば



玉送り

T N

障害児（者）とボランティアのつどい

平成 29 年 11 月 12 日

豊橋市内の在宅、施設の障害児（者）・施設職員・ボランティアが一堂に会して、レクリエーションや昼食を一緒にとりながら一日を楽しく過ごすイベントが市の障害者福祉会館「さくらピア」で開催されました。参加者約 160 名が交流を深め、父母の会からは 13 家族 26 名が参加されました。

今年も例年のように高校生が進行役で実施され、特に企画を高校生と「つくしの会」が担当され、とても充実していました。今年のテーマは④～みんなのえがお・つなげよう～です。参加者が 5 班に分かれて、午前中は折り紙等で遊んだり、作ったりして楽しみました。昼食時に三菱レーヨンの皆さんが歌とバンド演奏をしてくださり、会場全体がとても和やかな雰囲気になりました。昼食後はゲームを中心に各班で楽しみました。

最後は全員が会場全体に広がり、歌とダンスを楽しく踊り、笑顔でいっぱいになりました。ここで来年も笑顔で会いましょう！と誓い、会場をあとにしました。

(辻)



ボランティアのつどい感想文

今日は、楽しい時間をいっぱい、ぼくたちのためにゲームやおどり・歌をありがとうございました。お昼には、さなえ会のみなさんのおいしい手作りカレーをいただきました。本当にありがとうございました。また来年もみなさんといっしょに楽しめたらと、思います。

ぼくたちも元気に会えるように一年をすごしていきます。ほんとうにごちそうさまでした。

金子昌義



ビニャータ（くすだま）の中身作り



昼食休憩・演奏会

わいわいカーニバル 2017 ～スポーツフェスティバル～

平成 29 年 10 月 21 日 (土)

豊橋での開催は、8 回目となるわいわいカーニバルです。豊橋総合体育館 第二アリーナにて盛大に開催されました。ご来賓の皆様、ボランティアの方々ご協力ありがとうございます。「みんなの体操」から「じゃんけんゲーム」まで、みんなニコニコ楽しいひと時を過ごしました。



～感想文～



わいわいカーニバルに行ってきました。
私は多勢の前で開会式であいさつをしました。
少しドキドキしました。
それからハン食い競争やじゃんけん大会をしました。
2回勝ただけでした。
私は1人で参加したので大原さんと一緒に食べて
もらいました。
いっぱいおしゃべりして楽しかったです。来年も参加
したいです。ありがとうございました。

(新 佳祐)



みんなの体操 (特支学校高等部代表)



風船運びリレー

心身協福祉大会

(29.12.2 於：県社会福祉会館)

12月2日、県内5団体による愛知県心身障害児(者)福祉大会が開催され、知事代理として宮本副知事をお迎えし、知事表彰、会長表彰の表彰式がありました。受賞者は下記の通りです。受賞誠にありがとうございました。

□愛知県知事表彰

・更生援護功労者

芝原金吾

□愛知県心身障害児(者)福祉団体連絡協議会長表彰

・自立更生者

外山正晃

渡会拓美

・更生援護功労者

星川広江



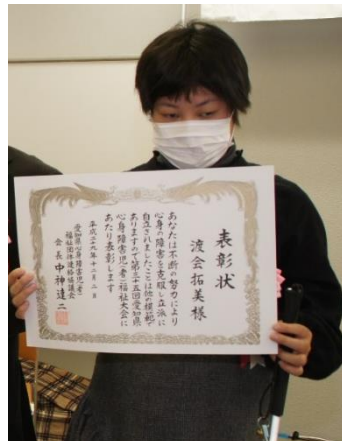
外山さん



芝原さん



星川さん



渡会さん

友だち紹介

No.16



ミヤハラ・イワイ・
カミラ・エミ

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

生活塾春日、
ふくふく

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
歌う事とドラマを見ること。

【趣味・得意なこと】
絵を描くこと。

【みんなに言いたいこと】
これからも色々な行事に参加して皆さんと
楽しめたら良いなあ～と思いますのでどう
ぞよろしくお願いいたします。



小寺 陽葵
(こでら ひまり)

【通学・通所施設名 学
年、年齢等】

こども発達センター、
つつじ教室 ゆり組
5歳

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
スイーツ（おやつ）が大好きです。
すべり台、ブランコ等もちよっと怖いけど好きです。
ゆり組のお友達と先生と毎日楽しんでます。

【趣味・得意なこと】
人の顔をキラキラみつめ 陽葵スマイル

【みんなに言いたいこと】
リハビリで立つ練習を頑張っています。様々な体験を
して積極的に活動していきたいです。弟に負けない
でいっぱい食べます。見かけたら声をかけてくださ
い。北海道育ちの白い肌、ピンクのバギーが目印です。
キラキラお目めも!(^^)!



金子 未来
(かねこ みく)

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

授産所ふくふく、
シーサイド吉前

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
家族やみんなと遊ぶこと。

【趣味・得意なこと】
食べ歩き、
おしゃれすること。

【みんなに言いたいこと】
二十歳になりました。
素敵なレディ目指して頑張ります！



中山 華
(なかやま はな)

【通学・通所施設名
学年、年齢等】

奏楽、 20歳

【好きな事・好きな物 今後の夢など】
好きな事は出掛ける事です。
好きなものは恐竜です。

【趣味・得意なこと】
得意なことは暗記力で、趣味は古代生物の本・写真・
動画を見る事です。

【みんなに言いたいこと】
日本のまだ行っていない所へ旅行に行きたいです。



<今後の主な行事予定>



- 1月 6日 (土)** はたちのつどい・あイトピア
1月24日 (水) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園
1月28日 (日) 豊隣連&北ライオンズクラブ懇親ポーリング大会
2月11日 (日) *豊橋市父母の会シンポジウム「共生社会の実現をめざして」
 (ほいっぶ 1階講堂)
3月24日 (土) 定期総会&勉強会・あイトピア



○印の参加募集はありません

*ハガキでの募集はありません。別紙にて1月20日までに
お申し込みください。多数のご参加をお待ちしております。



***予定は順次ご案内いたします**

<あとがき>

・今回の表紙は、三浦竜之助さんの作品です。「さらなる飛躍」とコメントをいただきました。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみたく思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。相談先の電話番号は29年度の総会資料をご覧ください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードまたは図書券をプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みでも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は 中神 まで電話または FAX かメール
ご連絡をお願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com